

ユニバーサルデザインに関するアンケート

【はじめに】

会津若松市では、平成19年に「会津若松市ユニバーサルデザイン推進プラン」を策定し、現在「第3次会津若松市ユニバーサルデザイン推進プラン」に基づき、「すべての人にやさしく、暮らしやすいまち」の実現に向けて、様々な取組を行っております。

つきましては、市政モニターの皆様にユニバーサルデザインに関して、日ごろ感じていることやご意見・ご提案等をお伺いし、今後の取組の参考にしていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

なお、アンケート内容につきましては市のホームページで公表するほか、市内事業者への情報提供等、必要に応じて公表する場合がありますが、結果は個人が特定できない形で公表いたします。

※回答は別紙の回答用紙に記載してください。



会津若松市ユニバーサル
デザインキャラクター
「ゆにばくん」

アンケートへのご協力、
よろしく申し上げます。

1. あなたご自身について伺います。

問1：あなたの氏名をご記入ください。

問2：あなたの外出頻度を教えてください。 (1つ選んでください。)

1. 毎日 2. 週3～5日 3. 週1～2日 4. 週1日未満

問3：あなたが日ごろ、もっとも多く利用している交通機関を教えてください。 (1つ選んでください。)

1. 徒歩・自転車 2. 自家用車 3. バス 4. 電車
5. タクシー 6. その他

問3-1：問3で回答した内容はどのような目的で利用しているか教えてください。
(複数回答可)

1. 通勤
2. 通学
3. 通院
4. 買い物
5. 余暇活動や趣味活動
6. その他

問4：情報収集の手段として携帯電話やスマートフォンなどを利用していますか。
あてはまるものを1つ選んでください。

1. 利用している → 問4-1へ
 2. 利用していないが、今後利用したいと考えている
 3. 利用していないし、今後利用するつもりはない
- } 問5へ

問4-1：問4で「1. 利用している」と回答した方に伺います。現在情報
収集手段として利用しているものを教えてください。
(複数回答可)

1. 携帯電話
2. スマートフォン
3. パソコン
4. タブレット端末

2. ユニバーサルデザインについて伺います

問5：あなたは、ユニバーサルデザインという言葉を知っていますか。
あてはまるものを1つ選んでください。

1. 言葉を知っており、考え方や意味もよく知っている
2. 言葉を知っており、考え方や意味を少し知っている
3. 言葉は聞いたことがあるが、考え方や意味は知らない
4. 言葉自体知らない → 問6へ

問5-1へ

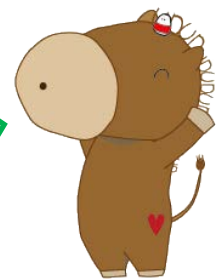
【「ユニバーサルデザイン」について】

「ユニバーサルデザイン（UD）」は、はじめから、すべての人の多様なニーズを考慮し、年齢、性別、身体的能力、言語などの違いにかかわらず、すべての人にとって安心・安全で利用しやすいように、建物、製品、サービスなどを計画、設計する考え方です。そのため、高齢者や障がいのある人など特定の人に対し、すでに存在している障壁（バリア）等を後から取り除くといった対応ではなく、はじめからすべての人が生活・活動しやすい環境づくりを行うものです。また、今より少しでも利用しやすいものにすることを目指して、見直し、改善に絶えず取り組んでいくものです。

【ユニバーサルデザインの例】

- 絵や記号使った案内表示にする（トイレの男性／女性マーク など）
- 安全で利用しやすい施設にする（スロープ、手すり、段差のないフロア など）
- 情報を誰にでも分かりやすく、迅速に伝える（文字を大きくする、ホームページの読み上げ対応 など）

市では「すべての人にやさしく、暮らしやすいまち」の実現に向けて、ユニバーサルデザインの取組を推進しています。
詳しくは「ユニバーサルデザイントップページ」からご覧いただけます。



○ユニバーサルデザイントップページ

<http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2008101400024/>



問5-1：問5で「1. 言葉を知っており、考え方や意味もよく知っている」、「2. 言葉を知っており、考え方や意味を少し知っている」、「3. 言葉は聞いたことがあるが、考え方や意味は知らない」と回答した方に伺います。「ユニバーサルデザイン」という言葉をどのようにして知りましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

1. テレビ、ラジオ
2. 本、新聞、雑誌
3. インターネット
4. 行政広報（市政だより、市のホームページなど）
5. 講演会・シンポジウム
6. 企業の展示
7. 学校の授業
8. その他（具体的に： _____）

問6：あなたは「ユニバーサルデザイン」に関心をお持ちですか。あてはまるものを1つ選んでください。

- | | | |
|-------------|---|-------|
| 1. 非常に関心がある | } | 問6-1へ |
| 2. 少しは関心がある | | |
| 3. 関心がない | } | 問7へ |
| 4. わからない | | |

問6-1：問6で「1. 非常に関心がある」「2. 少しは関心がある」と回答した方に伺います。あなたが関心のある「ユニバーサルデザイン」は何ですか。（複数回答可）

1. 意識づくりについて
（思いやりやおもてなしのこころを育む取組、ユニバーサルデザインの必要性や重要性の意識啓発など）
2. 地域・社会環境について
（地域での支え合い、交流の場、防犯・防災など）
3. 情報の提供について
（様々な手段による情報提供、分かりやすい情報提供、情報収集のしやすさ）
4. サービスの提供について
（手続きの簡素化、気配りある対応など）
5. まちづくりについて
（施設設備、道路、公園、公共交通など）
6. もの（製品）づくりについて
（誰もが使いやすい製品の開発、普及など）

7. その他（具体的に： ）

問7：あなたが日常生活や社会生活を送るうえで、ユニバーサルデザインの観点から、不便や不安などを感じていることはありますか。
あてはまるものを1つ選んでください。

- | | | |
|---------------------|---|-------|
| 1. 不便や不安を感じるが多い | } | 問7-1へ |
| 2. 不便や不安を感じるがときどきある | | |
| 3. 不便や不安を感じることは少ない | } | 問8へ |
| 4. 不便や不安を感じることはない | | |
| 5. どちらともいえない | | |

問7-1：問7で「1. 感じるが多い」「2. 感じるがときどきある」と回答した方に伺います。具体的にどんなことで不便や不安を感じますか。

3. 生活や社会でのユニバーサルデザインについて伺います

問8：あなたは日常生活や社会生活の全般について、どの程度ユニバーサルデザインが浸透していると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

1. 十分浸透している
2. まあまあ浸透している
3. あまり浸透していない
4. ほとんど浸透していない
5. どちらともいえない
6. わからない

問9：次に、以下のそれぞれの項目ごとに、どの程度ユニバーサルデザインが浸透していると思いますか。それぞれの項目であてはまるものを1つ選んでください。

	十分浸透している	まあまあ浸透している	あまり浸透していない	ほとんど浸透していない	どちらともいえない	わからない
①意識づくりについて (思いやりやおもてなしのこころを育む取組、ユニバーサルデザインの必要性や重要性の意識啓発など)	1	2	3	4	5	6
②地域・社会環境について (地域での支え合い、交流の場、防犯・防災など)	1	2	3	4	5	6
③情報の提供について (様々な手段による情報提供、分かりやすい情報提供、情報収集のしやすさ)	1	2	3	4	5	6
④サービスの提供について (手続きの簡素化、気配りある対応など)	1	2	3	4	5	6
⑤まちづくりについて (施設設備、道路、公園、公共交通など)	1	2	3	4	5	6
⑥もの(製品)づくりについて (誰もが使いやすい製品の開発、普及など)	1	2	3	4	5	6

問 10 : ユニバーサルデザインの「意識づくり」を進めるために、特にどのような取組が必要だと思いますか。 (複数回答可)

1. 広報などを通して市民や企業、団体などへ、ユニバーサルデザインの考え方を広めていくこと
2. 市内のユニバーサルデザインの取組事例を広報していくこと
3. 公共の施設（そこでのサービスを含む）などでユニバーサルデザインを実践すること
4. NPO 法人や市民団体などがユニバーサルデザインの考え方を広め、実践していくこと
5. 市民活動団体や民間企業におけるユニバーサルデザインの取組に対して、行政が支援していくこと
6. 研修会や講習会などによりユニバーサルデザインの地域や職場のリーダーとなる人材を育てること
7. 小中学校や市民向けのユニバーサルデザインの授業や講座を実施すること
8. その他（具体的に： _____)

問 11 : みんなが支え合い、安心して生活できる「社会・環境づくり」を進めるために、特にどのような取組が必要だと思いますか。 (複数回答可)

1. ボランティア活動等への参加意識の醸成や参加機会の拡大・拡充を図ること
2. 町内会などの地域団体の活動や、地域交流活動への支援を行うこと
3. 人々が集まり交流できるような場づくりを行うこと
4. イベントや講演会において、すべての人が参加しやすいような会場づくりを行うこと
5. 防災や防犯、交通安全などの意識を高める取組を行うこと
6. 災害時等に正確かつ迅速な情報提供ができる体制づくりを行うこと
7. その他（具体的に： _____)

問 12: 誰にでも分かりやすく、必要なときにすぐに得られる「情報提供」を進めるために、特にどのような配慮が必要だと思いますか。
(複数回答可)

1. 文字を大きくしたり、イラストや図表で表記したりすること
2. 点字など触って分かる表示や、音声での案内をあわせて行うこと
3. 多国語表記による情報提供を充実させること
4. 案内表記などを見やすい位置、わかりやすい場所に設置すること
5. ピクトグラム（絵文字）などを使用するなど、共通のデザインに統一すること
6. 色使いを見やすいものにする
7. パソコンなどを利用して、知りたい情報をすぐに手に入るようにすること
8. 複数の情報提供手段を用いること
9. インターネットなどの利用方法の講習会を開催すること
10. その他（具体的に: _____)

問 13: すべての人が快適に利用できる「サービスの提供」を進めるために、特にどのような取組が必要だと思いますか。(市の窓口、お店、事業所の対応など) (複数回答可)

1. 手続き等の簡素化を進めること
2. 快適に利用できるような環境づくりを進めること
3. プライバシーなどに配慮したサービスに努めること
4. 利用者の状況に応じたサービスの提供を行うこと
5. ゆっくりていねいに話す、専門用語を用いないなど、分かりやすい対応に努めること
6. インターネットでの手続きやコンビニ等での書類の発行など、直接出向かなくでも手続き等ができること
7. どこで手続きができるのかがすぐに分かるように、案内表示などを分かりやすくすること
8. 複数の窓口があるところでは、窓口の案内者を配置すること
9. その他（具体的に: _____)

問 14：建物、道路、交通機関などを安心・安全・快適に利用できる「まちづくり」を進めるために、特にどのような配慮が必要だと思いますか。 （複数回答可）

1. 道路や歩道を広くすること
2. 出入口や歩道の段差を少なくすること
3. 歩道に商品や看板を陳列しないようにすること
4. 昇り降りが楽にできるように、エレベーターを設置すること
5. 車いすを利用する人や子ども連れの方、おむつ交換をする人でも利用しやすいトイレなどを整備すること
6. 電車やバスの中に、車いすやベビーカーなどのためのスペース（場所）を確保すること
7. ベンチなど休憩できる施設を設置すること
8. その他（具体的に： _____)

問 15：誰にでも使いやすく、使ってみたくなるような「ものづくり」を進めるために、特にどのような配慮が必要だと思いますか。 （複数回答可）

1. 商品の内容や機能などを、分かりやすいものにすること
2. 文字が大きく、読みやすい説明書を用意すること
3. 操作間違いや、危険な状態が起こりにくいものにすること
4. 効率よく、快適に使用することができ、疲れにくいものにすること
5. 様々な人のニーズ（要求）に対応できるよう、たくさんの種類の製品を用意すること
6. 商品開発にあたって、必要とする機能だけを基本型として用意し、個別のニーズ（要望）には追加の選択肢で対応すること
7. 高齢者や左利きの人など、特定の人に配慮した製品であっても高価でないこと
8. その他（具体的に： _____)

問 16：会津若松市の中で、特にユニバーサルデザインが進んでいると思うところを具体的に教えてください。

ハードの部分（例：公共施設、商業施設、道路、公園、公共交通、標識 など）と

ソフトの部分（例：情報、サービス、意識、安全、防災など）をそれぞれご記入ください。

問 17 : 会津若松市の中で、あまりユニバーサルデザインが進んでいないと思うところを具体的に教えてください。

ハードの部分（例：公共施設、商業施設、道路、公園、公共交通、標識 など）と

ソフトの部分（例：情報、サービス、意識、安全、防災など）をそれぞれご記入ください。

問 18 : あなたが日常で見つけた「ユニバーサルデザイン」と思うものを教えてください。（シャンプーボトルの凹凸や駅の多言語表記、サービス等の内容など）

問 19 : より「ユニバーサルデザイン」の取組を進めていくためのアイデアを具体的に教えてください。（サービス、施設等の設備、ものづくりなど）

4. 今後のユニバーサルデザインを進めていくことについて伺います

問 20 : 「ユニバーサルデザイン」の考え方によるまちづくりについて、あなたの考えに最も近いと思われることは何ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

1. みんなが「ユニバーサルデザイン」の考え方を理解し、一人ひとりができるところから実践・行動していくことが必要だと思う。
2. まずは、みんなが「ユニバーサルデザイン」の考え方を理解することが必要だと思う。
3. 高齢者、子どもや子育て中の方、障がいのある方、外国人の方などが暮らしていく上でのバリア（障壁）を除いていくことが必要だと思う。
4. その他（具体的に： _____）

問 21 : あなたが、ユニバーサルデザインの考え方を導入していくことが必要だと考えるのはどれですか。（回答は3つまで）
また、回答いただいた項目において、具体的にはどのようにユニバーサルデザインの考え方を導入していく必要があると考えますか。

【主にハード面】

1. 案内看板や誘導サイン
2. 公共建築物
3. 道路
4. 駐車場、駐輪場
5. 公園、広場
6. バス、鉄道などの公共交通関係
7. 商業施設、商店街
8. 旅館、ホテル
9. ものづくり、製品開発

【主にソフト面】

10. サービスの提供
11. 情報の提供
12. 人々の意識やこころのあり方
13. 教育、学ぶ環境
14. 防災

【その他】

15. その他

【こころのユニバーサルデザイン】

「第3次会津若松市ユニバーサルデザイン推進プラン」では、すべての人を大切に思い、相手を理解し、相手の立場に立った「思いやりの気持ち」や「気づかい」といった「こころのユニバーサルデザイン」がユニバーサルデザインの取組の基盤であるとしています。思いやりの心、やさしい気持ちをもって、周りの困っている人に気づき、心を動かし、自分にできることから行動に移していくことで、誰もが安心して、心豊かに暮らすことのできる温かい社会になっていきます。

【こころのユニバーサルデザインの取組の一例】

- 地域の人との交流、支え合い
- マナーやルールを守る
- みんなで使うものを利用するときは後に使う人のことを考える



思いやりのこころ、やさしい気持ちを持って自分にできることから行動に移していくことで、誰もが安心して心豊かに暮らすことのできる、温かい社会になっていきます。

問 22 : 「こころのユニバーサルデザイン」を進めるにあたり、特にどのような配慮が必要とご思いますか。教えてください。(複数回答可)

1. 困っている人がいたら声をかけ、手助けをする。
2. 電車やバスの中で、必要としている人に席を譲ること。
3. 自転車や車を歩道に駐車したり、狭い道路を速いスピードで走行したりするなど、通行の妨げや危険な運転をしないこと。
4. 公共窓口や店舗などの接客時に、ゆっくり話すなど、ていねいに対応する。
5. ユニバーサルデザインに関する教育を充実させること。
6. 施設等でユニバーサルデザインが十分に導入されていないところでは、行動により補うこと。(例：自動ドアでないため困っている人がいれば、扉を開けてあげるなど)
7. 一人ひとりがマナーやモラルの向上に努めること。
8. 地域の人々や子どもから高齢者までの多世代の交流、助け合い活動や、ボランティア活動を活発にすること。
9. その他 (具体的に: _____)

問 23 : 「こころのユニバーサルデザイン」の行動・実践として、私たち一人ひとりができるものとしてどのようなものがあると思いますか。教えてください。

問 24 : あなたは、ユニバーサルデザインに関する活動で参加したいものがありますか。 (複数回答可)

1. ユニバーサルデザインについて学ぶ講演会、講座などへ参加
2. ユニバーサルデザインの考え方を職場や家庭、地域に広める活動
3. 高齢者や障がいのある方、小さい子ども連れの方への手助けやボランティア活動
4. 地域の活性化やまちづくりにユニバーサルデザインの考え方を活かしていく活動
5. ユニバーサルデザインの視点から、行政や事業者へ提案していく活動
6. 特に活動や参加をしたいと思わない
(理由:)
7. その他
(具体的に:)

問 25 : ユニバーサルデザインやバリアフリーの観点から、あなたは会津若松市がどんなまちであってほしいと思いますか。ご意見をお聞かせください。

5. その他

問 26 : その他、本市のユニバーサルデザインの推進に関し、ご意見やご提案などがありましたら教えてください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。